

「フィガロ」の夏が、やってくる!

7月に上演される佐渡裕プロデュースオペラ「フィガロの結婚」。
4月23日の「ハイライトコンサート～ええとこどり」(洲本市)を皮切りに、プレイベントが続々スタート!
楽しいオペラシーズンのはじまりです!
今号のニュースは、ええとこどり・ルポを中心に、佐渡オペラをもっと楽しむ情報満載でお届けします!

プレイベントスタート!

笑いあり、涙あり。これぞ、喜劇オペラの最高傑作!

オペラ
「フィガロの結婚」
ハイライトコンサート
～ええとこどり!
誌上ルポ

今年の「ええとこどり」はなんと出演者総勢9人!主要キャラを全て揃えて、「フィガロの結婚」の名アリア、アンサンブルを一挙お届けしました。本番がますます楽しみになったコンサートの模様をレポートします!

伯爵夫人のアリアに涙。

夫の愛はどこに?伯爵夫人の歌う2幕の名アリア「愛の神よ、安らぎをください」に会場もらい泣き...



大・爆・笑のベッド?シーン。

スザンナが慌てて寝椅子の中に隠したケルビーノ。伯爵にばれる?ばれない?ハラハラドキドキの三重唱は一幕の見どころの1つ。



モーツァルトも登場。

「フィガロの結婚」誕生にまつわるエピソードも紹介されました!



オペラ「フィガロの結婚」ハイライトコンサート～ええとこどり!

出演: 迎 肇聡(伯爵)、平野雅世、白石優子(伯爵夫人)、古瀬まきを(スザンナ)、鳥山浩詩(フィガロ)、伊藤絵美(ケルビーノ)、西村 薫(マルチェリーナ)、萩原次己(バルトロ)、橋本恵史(バジリオ/お話) 伊原敏行(ピアノ/お話)、木村孝夫(構成/演出)

次はいよいよ本公演! 魅惑の豪華ダブルキャスト!!

[指揮] 佐渡 裕 [演出] デヴィッド・ニース

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2017

7/14, 16, 19, 21, 23 (西宮)

7/15, 17, 22 (西宮) 7/26 (姫路) 7/29 (篠山)

フィガロの結婚



ユンベン・ワン ケイト・ロイヤル リディア・トイジャー ジョン・ムーア



高田智宏 並河寿美 中村恵理 町 英和

全4幕/イタリア語上演・日本語字幕付き/新制作

7/14(金) 15(土) 16(日) 17(月・祝) 19(水) 21(金) 22(土) 23(日) 各日2:00PM

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール A12,000円 B以下売切

特設サイト公開中!

兵庫 フィガロ 検索

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日]

姫路公演 7/26(水) 6:00PM 姫路市文化センター大ホール S9,000円 A7,000円 B5,000円 ※高校生以下半額 079-298-8015

篠山公演 7/29(土) 2:00PM 篠山市立たんば田園交響ホール 一般 8,000円 高校生以下 3,000円 079-552-3600

ツイッターはじめました! 最新情報配信中!

フィガロ公式twitter @hyogopac_opera

これであなたもフィガロ通？

傑作「フィガロの結婚」 誕生秘話



プレイベントでもとりあげた
「フィガロの結婚」誕生にまつわる
エピソードを紹介します！



アンコールは禁止！

「フィガロの結婚」の初演は1786年、ウィーンのブルク劇場にて計9回上演されました。舞台は大盛況で、ちょうどウィーンに滞在していた父レオポルトは、娘のナンネルに「…あなたの弟のオペラの2回目の演奏では5つの曲が、3回目の時には7つの曲がアンコールされました。とくに小二重唱は3度も歌われました」と書き送っています。皇帝ヨーゼフ二世も観劇し、いつまでも終わらないアンコールに「独唱曲以外はアンコール禁止！」と通達を出したほどでした。



ヨーゼフ二世 [1741~1790]

マリア・テレジアの第1子で、神聖ローマ帝国皇帝。妹はフランス王妃マリー・アントワネット。啓蒙君主として、音楽をはじめ文化を手厚く保護。モーツァルトの運命に明に暗に大きく影響を与えた。

ちよい悪オヤジ、ダ・ポンテ

「フィガロの結婚」台本作家のロレンツォ・ダ・ポンテ。女性問題でヴェネツィアを国外追放！になった風雲児でしたが、ヨーゼフ二世に気に入られ宮廷劇場詩人の座に収まります。ダ・ポンテによると、ポーマルシェの喜劇「フィガロの結婚」のオペラ化を持ちかけたのはモーツァルトでした。二人はすぐに意気投合しますが、実はこの劇、貴族への風刺が問題視され当時ウィーンで上演が禁止されていた問題作。しかしそこは世渡り上手のダ・ポンテ、原作の風刺を上手く隠し、皇帝と直談判して見事上演許可を取り付けてしまいます。いい仕事してくれましたね！



ロレンツォ・ダ・ポンテ [1749~1838]

イタリア出身の詩人で、数々の浮名を流した。モーツァルトの代表作「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コジファン・トゥッテ」の台本作家。

フィガロは分身？ 怪男児 ポーマルシェ

「フィガロの結婚」の原作者は、フランスのポーマルシェ。時計職人の子として生まれ、王室御用時計工として宮廷に出入りするようになると、金で官職を購入し、その才覚で政権中枢に入り込みます。音楽の才もあったポーマルシェは、国王ルイ15世の王妃たちの音楽教師を務め、ルイ16世の時代には外交顧問まで務めました。まさに怪男児。その機転で伯爵と対等に渡り合うフィガロは、ポーマルシェの分身、だったのかもしれませんが。



ポーマルシェ [1732~1799]

時計職人から出発し、実業家・政治家・作家としてフランス革命前後の激動の時代を生きた。フィガロを主人公とした「セビリヤの理髪師」「フィガロの結婚」「罪ある母」を執筆。

今年の大千秋楽は篠山！

毎年、客席と舞台が一体となったカーテンコールで盛り上がる人気の楽日。早くも芸術文化センターでの最終公演は完売！チケットがとれず残念…と思っている貴方！！今年は、西宮公演の後に姫路、篠山公演があり、ツアーの最後、大千秋楽は篠山になります。前回県内ツアー「セビリヤの理髪師」でも感動の嵐だった大千秋楽公演。フィガロの大フィナーレに参加したい方はぜひ篠山へ！



2013年「セビリヤの理髪師」篠山公演より

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2017

フィガロの結婚

芸術文化センターチケットオフィス
0798-68-0255

7/14(金) 15(土) 16(日) **16(日) 完売** 17(月祝) 19(水) 21(金) 22(土) **23(日) 完売** 姫路公演 26(水) 篠山公演 29(土)